



2014.9.5

No. 248

MONTHLY

# れんごう



<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会 発行責任者 出村良平  
〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 はくろうビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

## 2015年度政府予算に関する中央要請を実施 雇用の安定・創出、地場産業の振興など151項目の「要求と提言」

連合北海道は8月5日、職場や地域実態に基づく2015年度政府予算に関する「要求と提言」を関係官庁に提出し、実現を求めた。

政府予算に関する「要求と提言」は、雇用の安定・創出と公正な労働条件の確保、地域資源を活かした地場産業の振興と地域の活性化、北海道の資源を活かしたエネルギー・環境政策の推進をはじめ151項目となった。

5日の要請行動では建設中の大間原子力発電所に関して、核燃料サイクル政策上の位置付け・必要性、道や函館市をはじめとする周辺自治体への情報公開と説明責任を果たすことや、幌延深地層研究センター事業に係わる「幌延町における深地層の研究に関する協定書」の遵守など、北海道として重要性と緊急性が高いと判断した労働・エネルギー・社会保障等55項目を重点要望として絞り込み、連合北海道国会議員団会議会長の小川勝也参議院議員、相原久美子参議院議員の同行のもと、関係する原子力規制委員会、経済産業省、国土交通省、総務省、厚生労働省、文部科学省を訪問・面談し、「要求と提言」の実現を求めた。

言」の実現を求めた。

この他の内閣官房をはじめとする12の関係官庁については直接出向いて「要求と提言」を提出した

また、連合北海道国会議員団会議も開催し、衆参国会議員や秘書に「要求と提言」の概要を説明し、政策実現に向けた協力を要請した。

なお、道政に関する「要求と提言」は、来年春に知事選挙が予定されているため、新しい知事が誕生した後に提出し、要請することとしているが、医療・介護に関しては、先の通常国会において「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律（地域医療介護推進法）」が成立したのに伴い、2025年を展望する医療・介護サービス提供体制の構築に向けた改革が都道府県、市町村で本格化するため、先行する形で8月7日に道に「要求と提言」を提出し、同28日に道交渉を行った。

〈この記事のアドレス〉<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=43>



## 「被爆69周年2014平和行動 in 広島・長崎 北海道統一代表団」を派遣

原子爆弾が投下され今年で69年目を迎える中、連合北海道・原水禁北海道・北海道友愛KAKKINは8月4日～9日の日程で、のべ102名を「北海道統一代表団」として広

島・長崎に派遣した。

8月5日の平和ヒロシマ集会で主催者挨拶にたった連合本部古賀伸明会長は、「今もなお多くの被爆者が放射線



障害に苦しんでいる。核兵器はいまだに世界に約1万7千発も存在し、人類は核兵器の脅威にさらされ続けている」と問題を投げかけ、「世界の核軍縮を進める上で、世界で唯一の核兵器被爆国日本の果たす役割は極めて大きく、核兵器廃絶に向けた世論形成の先頭に日本が立つ、その中でも私たち労働組合や平和団体が国際的運動を牽引していかなければならない」と述べた。また、全組織を挙げて取り組んでいる2015年核不拡散条約(NPT)再検討会議に向けた1000万署名についてふれ、「必ず1000万署名を成し遂げ、日本政府はもとより、会期中には国連事務総長に核兵器廃絶に向けた会議での議論を強力に後押ししていく」と力強く宣言した。

「被爆体験の証言」では、被爆直後に約40日間意識不明となり、今もなお多くの病気を抱えながら語り継いでいる坪井直さんが当時の悲惨な様子を話された。8月6日には、今回初めて連合北海道独自学習会を開催し、語り部の方からの証言として石井みちこさんから講演をいただいた。

7歳の時、爆心地から1.1キロの自宅で被爆。助けられた近所のおじさんと逃げまどう中、おじさんの息子と出会った。息子は目の前で倒れ、揺り動かしても動かず、すでに息絶えていた。4000度の熱が肌をチリチリ焼いていく中、医者のあるテントまでたどり着いた時には、腕から皮膚が垂れ下がっていて、それを切ってもらい包帯を巻いてもらった。山の斜面から広島をみると、街は橙色に燃えていた。漠然ときれいだなと思った。はぐれていた父母と再会し、小屋に姉弟と避難し暮らし

た。時々、血を吐き尿や便にも血が混じった。にぎやかなカエルの鳴き声が響くのを聞いたとき、子どもながらに戦争が終わったのだと感じた。

石井さんはこの壮絶な体験を淡々と語られた。参加者はこの語りの中に、戦争の実相、真実の言葉の重さを感じ、平和の実現のため、これを語り継いでいかなければならない責務があることを強く感じた。

続く、8月8日の平和ナガサキ集会では、連合本部神津里季生事務局長が主催者挨拶にたち「連合は核兵器廃絶に向けてより一層の運動の強化と幅広い国民世論の形成が不可欠であり、行政や関係諸団体に幅広く行動への参加協力を呼びかけていく」とし、「本集会において核兵器廃絶や戦争のない世界に向けて、全体で意志を統一し、世界の恒久平和に向けたメッセージを発信できるよう協力をお願いしたい」と述べた。また結びに「今回の集会に若い世代の方々が多数参加していることを非常に心強く思う。思いを語り継ぐ、そのことによって平和を実現し、核兵器を廃絶する。一人ひとりがその気になれば平和は実現しないが、一人ひとりがその気になれば平和は実現すると信じている」と語った。

続いて、「次世代への継承」として、第17代高校生平和大使が紹介された。連合北海道と退職者連合で構成する北海道高校生平和大使派遣実行委員会を選出した、酒井福さんと植村知世さんが大使を代表してそれぞれ決意を表明した。酒井さんは「語り部の方の話をお聴くと戦争の怖さや原爆の恐ろしさを感じることができるが、今、語り部の方の話をお聴く機会が減ってきている。





被爆者の方の生の声を将来10年後、20年後の子ども達の世代までつなげていけるような活動を行っていききたい」と述べた。また、植村さんも「8月17日から国連欧州本部を訪問し、スピーチや署名活動を通して、私たちの平和に対する思いを発信していきたい。核兵器、戦争のない世界、平和な世界の実現をめざし、誠心誠意、活動していきたい」と力強く述べた。

その後、歌と朗読（被爆体験等）による構成詩「親子で綴る平和の願い」が、連合長崎構成組織の組合員、家族（親子）等を中心に結成された約100名の仲間によって披露され、参加者は強く胸を打たれ、恒久平和と核兵



器廃絶への思いを新たにした。また、ピースフラッグリレーとして、連合長崎より、平和根室集会に向け、連合北海道へ平和の思いとともに旗が引き継がれた。統一代表団は広島・長崎においてピース・ウォークに参加するなど、それぞれ学習を深めた他、広島では北海道独自企画として原爆死没者慰霊碑への献花を、長崎では被爆地「淵中学校」への墓参を行った。

連合北海道はこれからも核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現をめざし、職場や地域における核兵器廃絶運動を粘り強く取り組んでいく。

〈この記事のアドレス〉<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=982>



## 平成26年度北海道最低賃金改正に関する事務局長談話

事務局長 出村 良平

8月12日午後、北海道地方最低賃金審議会（以下「審議会」）は、平成26年度北海道の最低賃金を現行の734円から14円引き上げ、748円に改正し、10月8日から発効することで結審した。

地域最低賃金は、北海道の低賃金構造を改善し、「働く貧困層=ワーキングプア」の解消のためのセーフティネットの一つとして最も重要なものである。

本年度の審議会は、昨年同様「経済財政運営と改革の基本方針」及び改訂「日本再興戦略」に配慮した調査審議を諮問されスタートした。

本年の審議に当たって労働者側は、低賃金ながら必死で働き自立しようとしている人々の生活に深刻な影響を及ぼしている足元の物価上昇を考慮するとともに、全道から寄せられた555団体に及ぶ声を反映して審議することを主張した。また、働く者が経済的に自立可能な水準への改定を強く求め、雇用戦略対話合意の800円、1,000円への引き上げに向けた道筋を付けることを強調した。

これに対し使用者側は、個別企業の支払い能力の限界を強調し、「中賃目安の14円」を大幅に下回る額の提示に固執した。

労働側委員は、「道内の非正規労働者数が、約96

万人、比率も約43%と高く、3分の1が家計維持者であることを重視すること。年収200万円以下の労働者も40万人、割合も4分の1を超えていること」などを訴え、「生活できる水準」「仕事に見合った賃金としての適正水準」など、最低賃金のあるべき水準の議論を尽くし、昨年以上の大幅引き上げに最大限努めるよう主張した。

しかし、審議会議論は上記内容についての激しいやり取りとなり、発効日も昨年同様に遅れる状況となった。労使譲らず激しい審議が続く中、公益委員から「中賃目安などを考慮する必要もあり、14円の引き上げ」が提案された。

労働側は、引き上げに伴い、パート労働者に与える影響率（26.9%）が極めて大きいことや、使用者側が初めて14円の引き上げに合意したことなどから厳しい判断を迫られたが、最終的に4年ぶりの全会一致により結審された。

今年は、「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」全道キャラバン第2弾の行動において、全道各地で街頭宣伝活動等を実施し、労働局前での昼休み集会、札幌駅・紀伊國屋前の「早朝街宣行動」などを展開し、道民世論の喚起に向けた取り組みに



全力をあげてきた。

今回の改定額は、足元の物価上昇を考慮した生活できる水準という要求からして、決して満足のできる改定額とは言えないが、2008年の最低賃金法改正による生活保護とのかい離は7年の歳月を費やしたものの、やっと解消することができた。そして労働側が主張してきた800円、1,000円への引き上げに向けた道筋を付けるための表記が初めて答申書に記されたことは、極めて大きな意味あいを持つ結果であり、本来あるべき賃金水準のあり方を議論するスタートと受け止めたい。

本年度の地域別最低賃金の闘いは一定収束を図ることとするが、引き続き、特定（産業別）最低賃金の引き上げと、雇用戦略対話合意の800円、1,000円への引き上げに向けて、改正された最低賃金の履行確保、法令遵守を求めている。

この取り組みに結集された産別・単組、地協・地区連合、関係各位のご協力に感謝し、引き続き、最低賃金の大幅引き上げに向けて、今後も全力を挙げていく。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=1000>



9月の主な動き

イベントカレンダー

■第4回最賃対策委員会

3日(水) 13:30/連合北海道会議室

■胆振地協ユニオンアカデミー

5日(金) 13:30/苫小牧市

■2014年働く女性の集会

6日(土) 13:00/ホテルノースシティ

■インターンシップ受け入れ

9日(火)～12日(金)

■第6回男女平等参画推進委員会

9日(火) 10:00/ほくろウビル会議室

■自殺予防ダイヤル周知街宣

9日(火) 12:00/札幌紀伊國屋前

■平和行動 in 根室

13日(土)～15日(月)/根室市

■幌延監視連絡会

18日(木)/幌延町

■第9回判例研究会

18日(木) 18:30/かでの2・7

■中央執行委員会

19日(金) 13:30/連合会館

■「STOP THE 格差社会!」第3弾キャンペーン開始

25日(木)

■第12回執行委員会

26日(火) 10:00/連合北海道会議室

■第57回地方委員会

26日(火) 13:30/ガーデンパレス

■第11回地協事務局長会議

26日(火) 16:00/ガーデンパレス

■集团的自衛権の学習会

26日(火) 18:00/かでの2・7



北海道労福協  
創立50周年記念キャンペーン

募集期間 2014 10/1(水) ▶ 12/30(火)

6カ月もの  
定期預金  
が

今だけ  
金利

年 0.5%

(税引後 年0.398%)

金利アップで  
うれしなアップ!

はじめるなら今がチャンス /  
定期預金  
【スクラム50】

金利	年0.50% (税引後 年0.398%) ※初貸満期日(自動継続)以降は店頭表示 金利となります。
募集総額	100億円
対象者	個人のお客さま
期間	6カ月(スーパー定期・大口定期)
預入金額 預入単位	1円以上・1円単位 ※ATM・インターネットバンキング(IB) でのお預け入れも対象となります。
条件	ろうきん普通預金口座 (総合口座含む)の保有 ※同時申込可

その他 ●この定期預金は元本保証の商品です。また、預金保険制度の対象です。●新たな資金での定期預金お預け入れが対象となります。●税引後の利率は、復興所得税を付加した20.315%の税金が差し引かれた利率であり、小数点以下第3位未満を切り捨てて表示しています。●マル優のお取り扱いについては、窓口にお申し出ください。●店頭の商品振替説明書をご用意しております。●募集総額に達した場合、お取扱期間中にかかわらず取扱を終了いたします。●本キャンペーン定期預金は、「インターネット専用定期預金 金利上乗せキャンペーン」と併用することはできません。

詳しくは(ろうきん)までお問い合わせください  
北海道ろうきんコールセンター 0120-5-109-26  
ご利用時間(AM9:00～PM5:00 北海道ろうきん 検索)  
(土・日・祝日は休業します)

※この内容は2014年7月28日現在のものです。